

「おおきくなるっていうことは にやさしくなれるってこと」

「おおきくなる」っていうことは、先生は、「周りの人にやさしくなれるってこと」だと思います。そもそも、やさしさとは何でしょうか。多くの辞書には、「心が温かく、思いやりがあること」とあります。つまり、周りの人にやさしくなれるということは、「周りの人への思いやりを持つ」ということです。みなさんは今、まさに「おおきく」なっている途中です。小学校で6年間過ごしてきて、6年生の時には、みなさんよりも歳の小さい子たちと関わる機会が多かったと思います。そんなみなさんの中に、「やさしくなりたくない」なんていう人はいないと思います。みんながきっと、やさしい人になりたい、そう思っているのではないのでしょうか。

やさしい人って、どんな人でしょう。「相手の気持ちが考えられる人」が、やさしい人なんじゃないかなと思います。相手の気持ちを考えられる人は、相手が嫌な気持ちになるようなことは言わないし、しません。相手が良い気持ちになるようなことをします。相手の気持ちを考えられる人は、何かをしてもらったら感謝することができます。相手への思いやりは、相手の気持ちを考えることから始まっていくと思います。そしてそれが「やさしさ」なんだと思います。

みなさんは、中学生になりました。歳も、体もおおきくなっています。この中学校三年間の生活の中で、みなさんが「相手の気持ちを考える」ことを忘れなければ、きっとやさしい人になれるし、それを願っています。休校が続いていますが、学校に来れる日は必ず来ます。その時には、元気な姿を見せてくださいね。

1年副担任より